

入浴介助について学びました

2025. 6. 24

6月24日（火）こころとからだの理解の授業で入浴実習を行いました。沐浴実習室には機械浴という自力での入浴することが困難な高齢者や障がい者が、特殊な機械浴槽や機器を使って入浴する方法のことです。寝たきりの方や、座位を保つのが難しい方でも、安全に入浴できるように配慮されています。



- ストレッチャー上で身体や髪の毛を丁寧に洗っていきます。洗う時の強さや使用するタオルなどは利用者の好みに合わせられるよう自己選択の機会を意識的に設けていました。



- 入浴介助では、利用者の安全確保、体調管理、プライバシー配慮、そして適切な介助方法の理解が必要になってきます。浴室内での安全対策、急激な温度変化の回避、利用者の自立支援、そして丁寧な声かけと身体への配慮が重要となるため、利用者役の先生や生徒に対して丁寧に介助を行うことを心がけていました。